

## 「漁船に乗って海を学ぼう！夏休みの思い出作り！田尻漁業体験」活動の概要

- 日 時 平成30年8月25日（土）9:00～16:30
- 場 所 田尻漁港・海洋交流センター（大阪府泉南郡田尻町りんくうポート北1番）
- 主 催 CIFER・コア（一般社団法人 大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア）
- 協力団体 田尻漁業協同組合、海釣りぼ〜と田尻、株式会社総合水研究所、  
一般社団法人分析研修センター、NPO大阪府海域美化安全協会
- 参加者数 18家族 41名（保護者22名 小学生19人）  
スタッフ9名
- 活動内容 9:00 集合  
9:15 開会  
10:00 漁業体験（下船後、魚の捌き方指導）  
11:30 昼食  
13:00 環境学習  
（漁師さん、専門家の先生のお話し）  
15:00 釣り堀体験  
16:30 終了

### ■事務局から

本イベントには開催前に多くのご応募をいただき、57名の方から抽選とさせていただきました。

前日には台風20号が近畿地域を通過したため波が高かったのですが、田尻漁業協同組合のご判断で漁船を出していただくことができ、無事開催に至りました。

漁業体験では班編成を行い、4隻の漁船に分かれて乗り込みましたが、漁師さんや班長を中心に協力し合い、普段はなかなかできない「漁師体験」を楽しんでいただいたものと思います。

途中、船酔いする参加者の方もおられましたが、熱中症や事故もなく終わることができました。本イベントでの「海」との触れ合いが、参加者の皆様にとって夏休みのいい思い出となれば幸いです。

### CIFER・コア 矢持進 理事の挨拶



田尻漁港の周辺は大阪湾の中でも豊かな海の象徴のような場所です。

CIFER・コアでは、大阪湾全体がこのような豊かで恵み多い海となることを目指し、産・官・学・民が協力して色々なプロジェクトに取り組んでいます。本日の漁業体験や環境学習もその一環です。

本日は風が強いですが、安全に配慮しながら、自然の恵みを感じ、楽しんでほしいと思います。

## ◆ 漁業体験

実際の漁を体験し、その後獲れた魚を漁師さんが捌き調理するのを見学しました。



ライフジャケットを装着して乗船



沖に出て、刺し網、はえ縄、タコ壺漁などを体験しました。



ヒラメ、アナゴ、ワタリガニ、タコなどを漁獲。  
台風の影響のため、これでも少ないのだそうです。

漁師さんが捌いた魚は全員に分けられました。



## ◆ 環境学習

午後からの環境学習では、大阪湾の漁業についてのお話を聞きました。



### 大阪府水産技術センター主任研究員 辻村浩隆さんのお話

水産技術センターは、漁師さんのお手伝いをするのがお仕事です。海の水の状態や、魚がどのくらいいるかを調べ、どうすれば魚が増えるのかという研究をしています。今日は大阪湾の環境と魚についてお話したいと思います。

#### ・大阪湾の環境について

大阪湾奥部には砂浜が2箇所しか残っていませんが、浜辺にはアマモなどの海草が生え、たくさんの魚が集まってくるため、砂浜を取り戻そうという活動も行われています。

大きな川からは栄養を含んだ水が流れてきますが、栄養が多過ぎるとプランクトンが異常発生して赤潮がおきます。赤潮自体はそれほど悪いことではないのですが、大量のプランクトンが分解され、酸素が無くなった水塊である青潮が発生します。大阪湾のように浜辺のない、コンクリートの護岸に囲まれた海では、この時魚が逃げる場所を失い、窒息して大量に死んでしまいます。今では栄養を川に流さないようにしているのですが、そうすると今度は海の栄養が足りなくなり、海苔の色落ちや、魚が取れなくなるなど、別の問題が起こるようになりました。ちょうどいい栄養のバランスを見極めることが大切なのです。

#### ・大阪湾の魚について

大阪湾の外側には黒潮が流れており、黒潮から別れた水が湾内に流れ込んでくるため、大阪湾の魚は黒潮の影響を受けます。マンボウやハリセンボンなどの熱帯の魚も取れることがあります。大阪湾には約300種類の魚がいますが、カサゴやメバルのように一生を大阪湾で過ごす魚もいれば、タイやアジのように産卵の時期だけ湾にやって来る魚もいます。

水産技術センターでは、キジハタ、トラフグ、マコガレイ、アカガイの稚魚を放流しています。

皆さんは海に触れ合う機会は少ないかもしれませんが、今日の機会にもっと海に興味を持ってほしいと思います。



### 田尻漁業協同組合 森下耕治さんのお話

大阪湾は入口と出口が狭く潮が穏やかなため、昔はものすごい量の魚が取れました。しかし、関西空港の連絡橋のあたりでは埋立て後に漁獲量が10分の1ほどに減ってしまい、人間がどれほど頭を使おうと、自然のものに手を入れるとロクなことにはならないと実感しました。

普通、海は満月が真上にくるときに満潮となりますが、大阪湾は地形のせいでこのとき干潮となる、世界的にも珍しい海です。昔から人が生まれるのは満潮の時で死ぬのは引き潮の時だと言われているように、海は人の生活に大きな影響を与えてきました。

海の水は蒸発して雲となって雨を降らし、山の落ち葉を通った水は谷川へ流れ、やがて海へ戻ってきます。環境汚染や水質汚濁というのは全て人間の活動の結果であって、自然は100パーセントきれいな水を作ってくれます。動物プランクトンが植物プランクトンを食べ、動物プランクトンを魚が食べ、魚を人間が食べている。今日は生き物の命を食べているということを実感してもらえたと思います。

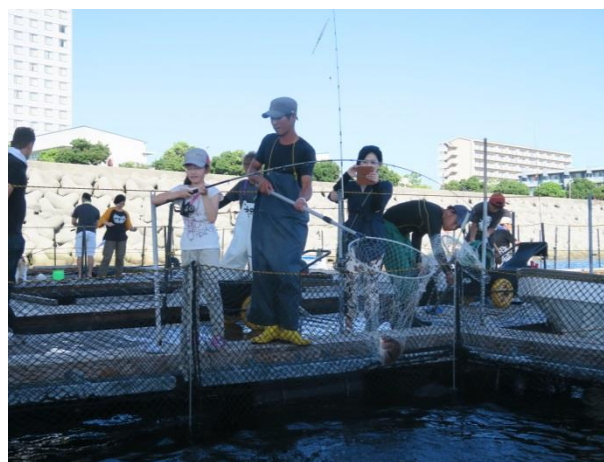
食事をする時に「いただきます」と言うのは生き物の命をいただくということ。親も子もそのことをよく覚えてほしい。そうすれば「命が大切だ」と改めて口に出す必要もありません。



森下さんには刺し網、はえ縄、タコ壺の実物を見せていただきました。それぞれ魚の特性を利用した漁法とのことです。

#### ◆ 釣り体験

釣り堀で順番に各家族1匹（18匹）のマダイを釣り上げました。



釣った魚はその場で処理してもらいました。